

2010年10月12日

函館市長 西尾正範様

連合北海道函館地区連合会
会長 荒木敏安
民主党函館支部
代表 斉藤 博
北海道平和運動フォーラム
代表 山田 剛
道南地域平和運動フォーラム
代表 相澤弘司

ロシア海軍艦艇「アドミラル・パンテレーエフ」

函館寄港に関する申し入れ

日頃、函館市政の推進にご尽力されていますことに、深く敬意を表します。

さて、ロシア海軍所属「アドミラル・パンテレーエフ」が10月15日から函館港へ寄港を希望しています。

寄港目的の一つに「友好・親善」があげられていますが、商業港である函館港に駆逐艦が乗り付け「友好・親善」を強いられる理由はありません。

過去に米軍の乗組員による犯罪が多発したことにより、外国艦船乗組員による同様の事件の発生を市民は恐れており、さらには、軍艦等の入港が度重なっており、商業港としてのイメージ悪化は避けられず、商業港の経済活動に大きな支障を発生させ、港湾労働者をはじめ、関係者に不利益が生ずるおそれがあります。

貴職におかれましては、函館市民の安全を確保し函館市並びに道南の平和と軍縮を求める立場から、多くの市民世論に反する行為である「アドミラル・パンテレーエフ」の函館入港は断じて認められないことを日口政府・ロシア海軍に伝達されるよう強く要請します。

また、核兵器廃絶平和都市宣言を行っている函館市として「非核証明」を求めていくべきであり、いわゆる函館方式により核兵器の搭載の有無を確認できない場合には、断固として入港させるべきではありません。